

レファレンス協同データベース事業 令和 4 年度事業報告

目次

1. 活動報告	2
(1) 事務局の活動（時系列）	2
(2) 事務局の活動（その他）	2
(3) 企画協力員による活動.....	3
(4) 参加館による活動.....	3
(5) サポーターによる活動.....	6
2. 統計	9
(1) 参加館数（令和 5 年 3 月末現在）	9
(2) データ登録件数（令和 5 年 3 月末現在）	9
(3) データへのアクセス件数（令和 5 年 3 月末現在）	11
(4) YAU (Yearly Active Users) 数の推移.....	11
(5) 令和 4 年度御礼状.....	12
(6) 令和 4 年度企画協力員賞.....	12

1. 活動報告

(1) 事務局の活動（時系列）

日程	内容
令和4年	
7月15日	講師派遣：徳島県図書館職員研修会（主催：徳島県公共図書館協議会）
8月18日	第18回レファレンス協同データベース事業担当者研修会
9月2日	企画協力員会議（第1回）
9月5日	図書館情報学実習生受入れ
9月9日・ 9月28日	第18回レファレンス協同データベース事業担当者研修会
10月14日	講師派遣：令和4年度課題解決支援サービス研修会（主催：千葉県立東部図書館）
10月19日	れはっちのおでかけレポート（第14回）を事業ホームページに掲載
11月1日～ 11月30日	第24回図書館総合展にてWeb展示を実施（動画やパンフレット等の掲載）
12月2日	講師派遣：レファレンス協同データベースの利活用（主催：延岡市立図書館）
12月28日	企画協力員会議（第2回）
令和5年	
1月23日	れはっちのおでかけレポート（第15回）を事業ホームページに掲載
3月8日	国立国会図書館長からの御礼状送付、企画協力員賞授与
3月22日	第18回レファレンス協同データベース事業フォーラム「レファ協で出会う専門図書館—そのディープな魅力に迫る—」

(2) 事務局の活動（その他）

a. 参加館へのサポート

レファレンス協同データベース（以下「レファ協」という。）活用に関する情報、研修等イベントの案内、新規参加館の紹介等を掲載した参加館向けメールマガジン『レファレンス協同データベース事業参加館通信』を月1回（第437号～448号）発行した。また、システムメンテナンス等の連絡事項周知のため、必要に応じて参加館通信号外を発行した。

参加館からのレファ協に関する問合せを受け付け、随時回答を行った。新たに参加館となった機関には、初期作業として最初のデータの登録を促した。また、レファ協への参加後に初めて一般公開されたデータに対しては、事務局からのコメント付与、参加館通信やTwitterのレファ協公式アカウント（@crd_tweet）での紹介等を行った。

b. 広報活動

Twitterで登録データやイベント情報等を発信した。令和4年度の総ツイート数は3,187件、1日当たり平均ツイート数は約13件、令和5年3月末時点のフォロワー数は59,459アカウントである。令和4年3月末から令和5年3月末にかけて、フォロワー数の伸び率は約13%となっている。

c. システム改修

ウェブアクセシビリティの向上を図るため、別ウィンドウで開くリンクに、別ウィンドウで開くことを示すアイコンを追加するなど、レファ協ウェブサイトの画面レイアウト等を一部変更した。

d. 刊行物・ウェブサイト等への掲載

- ・戸鹿野陽子「レファレンス協同データベース事業の 20 年 (特集 レファレンスサービス)」『みんなの図書館』(540):2022.4 p.24-30
- ・「レファレンス協同データベースと識別子 ISIL の紹介—図書館とアーカイブズ機関の情報連携に向けて」『記録と史料』(33):2023.3 p.73-76

また、以下の書籍や記事で事業が紹介された。

- ・『調べる技術 : 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス』
小林昌樹 著 皓星社 2022.12
- ・『図書館にまいこんだこどもの大質問 : 司書さんもビックリ!』
こどもの大質問編集部 編 青春出版社 2022.12
- ・「「専門図書館」の質問対応に迫る 国立国会図書館 22 日フォーラム」『京都新聞』
2023.3.17

(3) 企画協力員による活動

a. レファレンス協同データベース事業企画協力員

(令和 5 年 3 月末時点。敬称略、五十音順)

井上 昌彦	関西学院大学図書館運営課課長
小熊 ますみ	埼玉県立熊谷図書館 図書館協力、視聴覚資料・図書館振興担当主席司書主幹
小田 光宏	青山学院大学コミュニティ人間科学部学部長・教授
坂井 華奈子	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 学術情報センター図書館情報課課長代理
田子 環	神奈川県立厚木清南高等学校司書
谷本 達哉	羽衣国際大学共通教育開発センター准教授
西口 光夫	豊中市立庄内図書館長

b. 令和 4 年度の主な活動

レファ協担当者研修会やフォーラム等の企画について助言をいただいたほか、担当者研修会の講師やフォーラムの登壇者としてイベント運営に御協力いただいた。

(4) 参加館による活動

<研修等での紹介>

・伊丹市立図書館本館「ことば蔵」

令和4年5月29日 キッズ・サバイバー講座（地震編）		開催形態：対面	
主催	企画者（市民） ※伊丹市立図書館本館「ことば蔵」との共催事業	参加人数	7名
内容	講座内でレファ協事業と、調べ方マニュアルに掲載している防災関係のブックリストを紹介した。		
令和5年3月19日 キッズ・サバイバー講座（地震編）		開催形態：対面	
主催	企画者（市民） ※伊丹市立図書館本館「ことば蔵」との共催事業	参加人数	11名
内容	講座内でレファ協事業と、調べ方マニュアルに掲載している防災関係のブックリストを紹介し、関連書の展示を行った。		

・いわき市立いわき総合図書館

令和4年8月17日 いわき総合図書館実習（レファレンス演習）		開催形態：対面	
主催	いわき市立いわき総合図書館	参加人数	2名
内容	<p>大学3年生を対象に、図書館実習のプログラムの一つとして①～③を行った。</p> <p>①レファレンス及びレファ協の説明</p> <p>②いわき総合図書館の状況（参加館登録の経緯、登録データ数、礼状授与、登録事例など）</p> <p>③演習問題（あらかじめ用意した五つの質問から好きな問題を選び、調査・回答を作る。）</p>		

・神奈川県学校図書館員研究会

令和4年5月 学校司書等実務研修春期全体研究会		開催形態：書面	
主催	-	参加人数	196名
内容	レファレンス委員会より、レファ協に関する資料を会員にメール配信し、活用を呼び掛けた。		
令和4年6月24日 令和4年度新規採用学校司書研修 第4回		開催形態：対面	
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	6名
内容	講義「カウンター業務」の中でレファ協を紹介した。		
令和4年12月1日 学校司書等実務研修冬期全体研究会		開催形態：対面	
主催	神奈川県教育局総務室	参加人数	160名
内容	レファレンス委員会より、活動内容を報告し、「自館のみ参照」のデータの一覧を提示して、一般公開への切替えを進めることについて提案を行った。		

・熊本県立図書館

令和4年5月27日 館内研修		開催形態：対面	
主催	熊本県立図書館	参加人数	約60名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・レファ協の事業概要 ・館内での登録の流れや事務要領について ・第17回レファ協事業フォーラム動画視聴 		

・国立国会図書館

令和4年4月 利用者サービス部門新規配属職員研修		開催形態；オンライン	
主催	国立国会図書館利用者サービス部	参加人数	50名
内容	プログラムの一部で、レファ協について説明した。		

・埼玉県立熊谷図書館

令和4年4月22日 レファ協入力担当者実務研修		開催形態：対面	
主催	埼玉県立熊谷図書館	参加人数	5名
内容	レファレンス取りまとめ担当が講師となり、レファ協の入力方法について説明した。		

・東京都江戸東京博物館 図書室

令和4年 新任者に対する概要説明・利用案内		開催形態：対面	
主催	東京都江戸東京博物館 図書室	参加人数	適宜
内容	毎年新任職員に対して行われる図書室利用案内の中で、レファ協についても説明した。独自に作成したテキストを利用した。		

・福岡県立図書館

令和4年9月5日 令和4年度公共図書館等職員レファレンス研修（初級）		開催形態：オンライン	
主催	福岡県立図書館	参加人数	24名
内容	「ハイブリッド情報検索」のプログラムで、文献を探す際に知っているると便利なWEBサイトの一つとしてレファ協を紹介した。		
令和4年9月26日 令和4年度公共図書館等職員レファレンス研修（中級）		開催形態：対面	
主催	福岡県立図書館	参加人数	13名
内容	「レファレンス課題調査（演習）」のプログラムで、知っているると便利なレファレンスツールの一つとしてレファ協を紹介した。		

<刊行物等への掲載>

・小野市立図書館

「7年連続 図書館に礼状 データベース事業で国会図書館から 小野」『神戸新聞』2022.4.8

・神奈川県学校図書館員研究会

ホームページの「レファレンス事例ピックアップ」のコーナーを隔月で更新した。

・蒲郡市立図書館

「評価高い蒲郡市立図書館 10年連続国立国会図書館長から礼状 データベース事業に貢献多大」『東愛知新聞』2022.5.7

「国立国会図書館長から10年連続礼状 レファ協への事例登録で蒲郡市立図書館／全国7館のトリプル評価も」『東日新聞』2022.5.8

「蒲郡市立図書館にお礼状 レファレンス協同データベース協力 国立国会図書館長から」『蒲郡新聞』2022.5.11

・函南町立図書館

「調べ物支援 DB 貢献 函南町立図書館 国会図書館から礼状」『静岡新聞』2022.5.10

(5) サポーターによる活動

レファ協事業サポーターは登録データへのコメント付与や当事業の広報等の活動を行っている。令和5年3月末時点で65名が登録されている。

<研修等での紹介>

- ・上田 茜

令和4年4月20日 2022年度第1回学校司書研修会		開催形態：書面	
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	30名
内容	「方言」を楽しむためのブックリストが掲載されている『方言ずかん』（ほるぷ出版2021年）を紹介し、レファ協調べ方マニュアル掲載の関西弁ブックリスト3点とレファ協事業についても紹介した。		
令和4年5月24日 2022年度第1回学校図書館教育担当者会		開催形態：書面	
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	32名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「方言」を楽しむためのブックリストが掲載されている『方言ずかん』（ほるぷ出版2021年）を紹介し、レファ協調べ方マニュアル掲載の関西弁ブックリスト3点とレファ協事業についても紹介した。 ・図書館を使った調べる学習コンクールの関連講座内で、伊丹市立図書館で作成した小中学生の読書案内のレファレンスに活用できるブックリスト（調べもの・マンガ・音楽・ゲーム・学校生活など）を配布した。 		
令和4年6月1日 2022年度第2回学校司書研修会		開催形態：対面	
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	30名
内容	図書館を使った調べる学習コンクールの関連講座内で、伊丹市立図書館で作成した小中学生の読書案内のレファレンスに活用できるブックリスト（調べもの・マンガ・音楽・ゲーム・学校生活など）を配布・解説した。関連するレファ協事例・レファ協事業も紹介した。		
令和4年7月6日 2022年度第3回学校司書研修会		開催形態：対面	
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	30名
内容	新刊紹介で、関連するブックリスト「料理レシピつき絵本」、「料理レシピつき物語」、		

	レファ協事業を紹介した。		
令和4年7月14日 図書館ボランティア「読み聞かせ隊はあと」勉強会	開催形態：対面		
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室担当	参加人数	14名
内容	ことば蔵の業務・受賞情報に触れる中でレファ協についても紹介した。		
令和4年7月23日～8月21日 2022年度初任者研修	開催形態：書面		
主催	兵庫県教育委員会	参加人数	14名
内容	新任教員を対象に行い、レファ協事業・事例の紹介も含むレジュメを配布した。		
令和4年9月8日 図書館ボランティア「読み聞かせ隊はあと」勉強会	開催形態：対面		
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室担当	参加人数	14名
内容	レファ協で公開中のブックリスト「防犯絵本」、レファ協事業を紹介した。		
令和5年1月25日 2022年度第7回学校図書館教育担当者会	開催形態：対面		
主催	伊丹市教育委員会事務局学校教育室学校指導課	参加人数	32名
内容	新刊紹介の際に、関連するレファ協調ベガマニュアル掲載のブックリスト「闘病記の絵本」とレファ協事業についても紹介した。		
令和5年3月9日 図書館ボランティア「読み聞かせ隊はあと」勉強会	開催形態：対面		
主催	伊丹市立図書館本館「ことば蔵」児童室担当	参加人数	14名
内容	レファ協事例が掲載されている書籍『図書館にまいこんだこどもの大質問：司書さんもビックリ！』とレファ協事業について紹介した。		

・寺尾 隆

令和4年4月1日 クイックレファレンス研修	開催形態：対面		
主催	大阪公立大学杉本図書館	参加人数	20名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習を行った（研修環境を使用）。		
令和4年8月20日 クイックレファレンス研修	開催形態：対面		
主催	福岡大学 医学部分館	参加人数	7名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習を行った（研修環境を使用）。		
令和4年8月31日 クイックレファレンス研修	開催形態：対面		
主催	関西学院大学 神戸三田キャンパス図書メディア館	参加人数	11名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習を行った（研修環境を使用）。		
令和4年9月1日、9月10日 クイックレファレンス研修	開催形態：対面		
主催	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス大学図書館	参加人数	23名、8名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習を行った（研修環境を使用）。		
令和4年9月15日 企業情報データベース演習	開催形態：対面		
主催	紀伊國屋書店	参加人数	10名
内容	東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー、eolの演習でレファ協研修環境を使用した。		

令和4年9月17日 法情報データベース演習		開催形態：対面	
主催	紀伊國屋書店	参加人数	17名
内容	D1-Law の演習でレファ協研修環境を使用した。		
令和4年10月26日 レファレンス研修		開催形態：対面	
主催	鹿児島国際大学図書館	参加人数	14名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習、事例研究を行った（研修環境を使用）。		
令和4年12月10日 レファレンス遠隔研修		開催形態：オンライン	
主催	紀伊國屋書店	参加人数	6名
内容	事前課題（レファレンス調査・レファ協登録）、発表、討議を行った（研修環境を使用）。		
令和5年3月29日 クイックレファレンス研修		開催形態：対面	
主催	京都橘大学図書館	参加人数	7名
内容	レファレンスインタビュー講義、ロールプレイ演習を行った（研修環境を使用）。		

<授業での紹介>

- ・徳田 恵里

近畿大学「情報サービス演習Ⅰ・Ⅱ（司書課程）」

Ⅰではレファ協を紹介し、Ⅱでは受講者全員が研修用環境で「レファレンス事例」を一つ完成させ、回答・回答プロセス・自身の考察をプレゼンすることを最終課題とした。

<刊行物等への掲載>

- ・上田 茜

2022年4月 図書館だより「伊丹市立図書館ことば蔵 information 2022 春号」にて、レファ協事業、レファレンスサービスを紹介

2022年9月21日 FM放送（ハッピーエフエムいたみ）、YouTube 配信

レファ協事業と伊丹市立図書館本館「ことば蔵」の御礼状授与について紹介した。

- ・徳田 恵里

『図書館と情報技術 3訂』樹村房, 2023.3

第7章4節3項ほかにて、レファ協を紹介した。

2. 統計

(1) 参加館数（令和5年3月末現在）

令和4年度も参加館数は着実に増加している。

館種	令和2年度 まで	令和3年度 まで	令和4年度 合計	令和4年度 増	令和4年度 減
公共図書館	501	514	535	21	0
都道府県	53	53	53	0	0
政令指定都市	25	25	25	0	0
市町村	423	436	457	21	0
大学図書館	203	206	208	2	0
国立大学	50	51	51	0	0
公立大学	20	20	21	1	0
私立大学	132	134	135	1	0
高等専門学校	1	1	1	0	0
専門図書館	63	65	68	3	0
学校図書館	65	73	73	1	1
アーカイブズ※	10	10	10	0	0
国立国会図書館※	13	13	13	0	0
合計	855	881	907	27	1

※ 「アーカイブズ」は、平成27年7月に館種区分「その他」から変更。

※ 国立国会図書館には支部図書館を含む。

<令和4年度新規参加館>（参加承認順）

公共図書館

行橋市図書館、福津市立図書館、世田谷区立中央図書館、佐久市立中央図書館、日高村立図書館、日出町立図書館、市立大町図書館、聖籠町立図書館、四万十町立図書館、舞鶴市立図書館、渋谷区立中央図書館、寝屋川市立中央図書館、飯田市立中央図書館、清水町立図書館、庄内町立図書館、美馬市立図書館、今治市立中央図書館、鎌ヶ谷市立図書館、須賀川市立中央図書館、久喜市立図書館、市立竹原書院図書館

大学図書館

育英大学・育英短期大学図書館、愛媛県立医療技術大学図書館

専門図書館

山梨県立文学館 閲覧室、昭和館 図書室、国立ハンセン病資料館図書室

学校図書館

雲雀丘学園小学校

(2) データ登録件数（令和5年3月末現在）

令和4年度末のデータ登録件数は対前年度比で約106%と増加した。年度ごとの新規データ登録件数は、前年度に比べて約94%であった。

a. 館種別・公開レベル別データ登録件数

	公共 図書館	大学 図書館	専門 図書館	学校 図書館	アーカ イブズ	国立国会 図書館	合計
レファレンス事例	201,989	27,394	22,396	5,920	3,071	24,699	285,469
一般公開	104,310	13,100	7,126	2,954	829	23,812	152,131
参加館公開	11,222	2,925	494	183	268	29	15,121
自館参照	86,457	11,369	14,776	2,783	1,974	858	118,217
調べ方マニュアル	9,426	682	234	871	35	1,116	12,364
一般公開	2,381	486	160	606	6	989	4,628
参加館公開	5,936	38	5	12	2	3	5,996
自館のみ参照	1,109	158	69	253	27	124	1,740
特別コレクション	413	141	660	14	7	328	1,563
一般公開	269	52	590	13	0	315	1,239
参加館公開	69	7	0	0	4	2	82
自館のみ参照	75	82	70	1	3	11	242
参加館プロフィール	535	208	68	73	10	13	907
一般公開	535	208	68	73	10	13	907
参加館公開	0	0	0	0	0	0	0
自館のみ参照	0	0	0	0	0	0	0
合計	212,363	28,425	23,358	6,878	3,123	26,156	300,303
一般公開	107,495	13,846	7,944	3,646	845	25,129	158,905
参加館公開	17,227	2,970	499	195	274	34	21,199
自館のみ参照	87,641	11,609	14,915	3,037	2,004	993	120,199

b. 年度ごとのデータ登録件数

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別コレクシ ョン	参加館プロフ ファイル	合計	総登録件数
平成16年度	13,620	167	158	283	14,228	14,228
平成17年度	6,557	190	73	107	6,927	21,155
平成18年度	4,087	183	5	52	4,327	25,482
平成19年度	4,841	197	21	10	5,069	30,551
平成20年度	5,682	5,928	13	27	11,650	42,201
平成21年度	8,759	223	10	32	9,024	51,225
平成22年度	13,646	307	28	29	14,010	65,235
平成23年度	17,956	543	54	20	18,573	83,808
平成24年度	23,079	361	124	23	23,587	107,395
平成25年度	20,830	688	△84	34	21,468	128,863
平成26年度	15,937	331	14	39	16,321	145,184
平成27年度	19,133	1,184	43	41	20,401	165,585
平成28年度	21,845	△16	20	44	21,893	187,478
平成29年度	18,084	320	48	28	18,480	205,958

平成30年度	18,436	195	19	36	18,686	224,644
令和元年度	23,715	397	350	23	24,485	249,129
令和2年度	15,315	208	277	27	15,827	264,956
令和3年度	17,734	145	327	26	18,232	283,188
令和4年度	16,213	813	63	26	17,115	300,303

※ △は前年度に対して減少したことを示す。

(3) データへのアクセス件数（令和5年3月末現在）

クローラによるアクセスを抑制する対応を実施したことなどにより、令和4年度は前年度よりも件数が減少した。

	レファレンス 事例	調べ方 マニュアル	特別 コレクション	参加館 プロフィール	合計
平成16年度	23,822	1,739	1,571	2,384	29,516
平成17年度	135,633	6,698	2,701	6,729	151,761
平成18年度	372,923	27,322	2,342	11,852	414,439
平成19年度	934,783	49,622	3,899	18,416	1,006,720
平成20年度	1,506,785	65,456	5,929	22,252	1,600,422
平成21年度	2,423,254	99,378	5,654	27,358	2,555,644
平成22年度	6,407,952	209,039	30,826	69,851	6,717,668
平成23年度	6,944,084	280,387	41,394	81,423	7,347,288
平成24年度	7,674,019	252,109	49,852	247,650	8,223,630
平成25年度	16,530,577	480,292	57,026	206,606	17,274,501
平成26年度	23,224,613	585,411	53,553	221,590	24,085,167
平成27年度	37,004,963	869,274	71,193	292,745	38,238,175
平成28年度	40,015,309	1,037,071	76,624	304,633	41,433,637
平成29年度	51,904,330	821,923	68,706	301,160	53,096,119
平成30年度	35,467,747	610,716	48,423	326,648	36,453,534
令和元年度	42,634,969	710,865	80,514	701,272	44,127,620
令和2年度	50,338,506	823,358	109,303	708,052	51,979,219
令和3年度	55,064,078	731,223	152,777	544,063	56,492,141
令和4年度	36,744,879	488,245	71,001	298,734	37,602,859

※ データの詳細表示画面の表示回数。レファ協の統計機能並びに前年度までの事業報告では「被参照数」と表記している。

※ レファレンス事例データ、調べ方マニュアルデータ、特別コレクションデータ及び参加館プロフィールデータにつき、参加館用システム・一般公開用システム双方へのアクセス件数を合計した（一般公開用システムの統計は、本データベースの一般公開を開始した平成17年12月15日から採取している。）。

※ システムへの負荷を避けるため、平成29年6月末以降、クローラによるアクセスを抑制する対応を随時行っている。

(4) YAU (Yearly Active Users) 数の推移

YAUとは、公開レベルを問わず、1年間で1件以上、レファ協にレファレンス事例、調べ方マニュアル又は特別コレクションを登録した参加館の総数である。YAU数は順調に進展

しているものの、参加館総数に占める YAU の割合は 30% 台後半で推移している。

	YAU	参加館総数	YAU 比率
平成 27 年度	250	697	35.9%
平成 28 年度	272	741	36.7%
平成 29 年度	287	769	37.3%
平成 30 年度	294	805	36.5%
令和元年度	300	828	36.2%
令和 2 年度	304	855	35.6%
令和 3 年度	329	881	37.3%
令和 4 年度	338	907	37.3%

(5) 令和 4 年度御礼状

令和 4 年度は 70 館に御礼状を送付した。対象館はレファ協ウェブサイト内「令和 4 年度 国立国会図書館長からの御礼状送付>対象館一覧¹」を参照。

(6) 令和 4 年度企画協力員賞

御礼状送付の基準には当てはまらないが、様々な観点からレファ協に貢献している参加館へ企画協力員賞を授与している。企画協力員で議論を行い、令和 4 年度は以下の 3 館を選定した。

- ・海老名市立図書館
(選定理由) 令和 4 年中に特に多数のデータを登録した。
- ・熊本大学附属図書館
(選定理由) 所蔵資料の特徴を生かした調べ方マニュアルを近年積極的に登録している。
- ・千葉県立東部図書館
(選定理由) 調べ方マニュアルを含めたデータ登録を長期にわたり継続している。

¹ https://crd.ndl.go.jp/jp/library/thanks_R4.html#list